



～地域の魅力をサポートします～
われら地域おこし協力隊

今回は、4月に隊員となった2人の方を紹介します。

青木 秀輔さん（上段写真「わ」担当）
（世界農業遺産推進・潟上集落担当）

はじめまして、4月から赴任しました青木秀輔です。父親の実家が新穂にあり、幼い頃から佐渡を訪れていました。農のある豊かな暮らしや、パーマカルチャー（持続可能な農業や文化）を実践したいと思い、孫ターンで佐渡に来ました。

私の担当地区である潟上では、潟上水辺の会があり、トキの餌場確保としてのビオトープづくりや、水辺の生き物調査などを行っています。また、潟上には天王川があり、6月18日、19日にはホタル祭りを行いました。6月はホタルが多く、1,000匹ほどのホタルを確認できました。

7月1日に開催された全国ホタル研究会新潟県関川村大会で、ホタル研究の先生から、「ホタルは全国で愛でることができる、佐渡はトキとホタルを愛でることができる、それは全国の他にはない特別な魅力」ということを教えていただきました。

トキのみかたになることは、ほかの生物のみかたにもなるのだということを実感しました。佐渡の人には当たり前風景は、当たり前ではなく非常に貴重であることをさまざまな形でお伝えしていきたいと思います。

林 純一さん（上段写真「ら」担当）
（ふるさと納税推進担当）

本年の4月から地域おこし協力隊として着任しました林純一です。

多くの隊員は島外出身者なのですが、私は旧畑野地区出身のいわゆるUターン組で、妻と愛犬ともども両親と同居しています。また、実家が今も専業農家ですので、休日は農業にも励んでいます。

さて、協力隊としての活動についてですが、私は今年から新たに募集された「ミッション型」隊員として「ふるさと納税推進」を担当しています。

ふるさと納税は、寄付金という資金が集められる利点のみならず、その返礼品が地元産品の流通拡大に直結しています。ひいては佐渡島のブランド向上につながる重要な任務と認識しています。

まずは市内の関係事業者様を訪問させていただき、現場のご意見ご要望、ご提案などをお伺いして、自分なりの課題整理をしています。

今後は、より多くの方々に共感いただける「佐渡市ふるさと納税」を目指してさまざまな推進活動と企画提案に努めてまいりますので、ご支援のほど、よろしく申し上げます。

隊員は地域の特徴に応じて、地域活動の支援、農作業の支援・PR、商店街の活性化、移住定住促進などさまざまな活動を行っています。

『**地域に根付いた活動**』をモットーに活動していますので、皆さまのご協力をお願いします。

お問い合わせ

産業観光部地域振興課 地域振興係 ☎63-4152